

令和7年度 学生会紹介

令和7年度の学生会役員15名が選出されました。学生会メンバーは、学生の皆さんが充実した学生生活を過ごせるよう、年間を通して様々な活動をしています。

スポーツ大会やクリーン作戦、大学祭、クリスマス点灯式など、多くの行事で学科や学年を超えて交流する機会を企画し、大学を盛り上げています。



令和7年度 白百合奨学金授与式

令和7年6月11日(水)、白百合奨学金授与式を実施しました。白百合奨学金は、後援会と同窓会及び学園が一体となって設立した、本学独自の制度です。本年度は20名が採用され、奨学生代表の学生は、「人々の心に寄り添うことのできる心理職に就くことを志しています。多くの方々に支えられていることに深く感謝し、夢実現のために、日々精進して参ります」と誓いの言葉を述べました。



学生広報サポーター 「PRing」

「PRing(プリング)」は、純大の魅力を発信するために作られたサークルです。Instagramの運営のほか、夏のオープンキャンパスでは学生スタッフとして活躍しています。

学生が発信！



Instagram

◆「PRing」に込められた想い◆

鹿児島純心大学の[ing](今)を[PR](広報)して、純大と人・地域を[Ring](輪)で繋げ、広がっていきます。



❖ 令和8年度 入試日程

選抜区分	登録期間	面談日	Web出願期間
自己推薦選抜(第1期)	9月1日(月)～9月4日(木)	9月13日(土)	9月29日(月)～10月9日(木)
自己推薦選抜(第2期)	11月28日(金)～12月4日(木)	12月13日(土)	12月15日(月)～1月5日(月)

※出願後の独自試験はありません。

選抜区分	出願期間	試験日
学校推薦選抜(公募制・指定校制)	11月1日(土)～11月14日(金)	11月21日(金)
学園内入学選抜(秋期)		
一般選抜(前期)	1月7日(水)～1月26日(月)	2月5日(木)
共通テスト利用選抜(A日程)		
学園内入学選抜(第1期)		
共通テスト利用選抜(B日程)	2月6日(金)～2月24日(火)	3月3日(火)
一般選抜(後期)	3月4日(水)～3月11日(水)	3月17日(火)
共通テスト利用選抜(C日程)		
社会人・帰国生徒・編入学選抜(秋期)	11月1日(土)～11月14日(金)	11月21日(金)
学園内入学選抜《編入学》(秋期)		
社会人・編入学選抜(第1期)	1月7日(水)～1月26日(月)	2月5日(木)
学園内入学選抜《編入学》(第1期)		
社会人・編入学選抜(第2期)	3月4日(水)～3月11日(水)	3月17日(火)
学園内入学選抜《編入学》(第2期)		

※選抜区分によって実施する学科は異なります。

【お問合せ先】

鹿児島純心大学 入試広報課

☎ 0996-23-5311 ✉ ml-exa@k-jundai.jp

📍 鹿児島県薩摩川内市天辰町2365

純大HP



LINE



Instagram



鹿児島純心大学・大学院 広報誌「天辰」

Amatatsu

No.37
2025

学科・大学院トピックス

教育・心理学科

児童生徒教育コース

こども発達コース

心理・文化専攻

看護学科

健康栄養学科

大学院

人間科学研究科

就職関係情報

在学生インタビュー

純大トピックス

CHECK! 新学科開設情報

スポーツ大会

新入生交流会

大学祭インタビュー

はんやまつり

サークル紹介(着装礼法部)

学生会紹介

白百合奨学金授与式

学生広報サポーター

令和8年度 入試日程



児童生徒教育コース

夢への第一歩

－ 教育実習を通して得た学びと成長 －

教育・心理学科4年 A.S.さん(国分高等学校出身)

私は小学校の教員になることを長年の夢としてきました。そのきっかけは、小学校の頃に出会った担任の先生です。一人ひとりに向き合い、一人ひとりを輝かせることのできる、愛情と情熱に溢れた素敵な先生でした。

昨年の9月、私は母校の小学校で教育実習を行いました。子どもたちの前に立ち、授業をするのは初めてで、緊張と不安でいっぱいでした。分からないことばかりで、自分の未熟さを痛感する日々でした。そんな中、私を支えてくれたのは、どんな活動にも一生懸命に取り組む子どもたちの存在でした。授業を重ね、先生方からご指導をいただく中で、少しずつ自信を持てるようになり、自らの成長を実感するかけがえのない3週間を過ごすことができました。

教育実習で得た多くの学びと子どもたちと過ごした温かな時間は、これから教員を目指す私の大きな支えとなっています。今後もこの経験を胸に、夢に向かって努力を重ねてまいります。



こども発達コース

知識から実践へ

－私が教育実習で得た宝物－

教育・心理学科3年 N.M.さん(伊集院高等学校出身)

初めての教育実習は、緊張や不安の連続でしたが、日々園児と関わる現場での経験は、知識を実践へと変える大きな一歩となりました。先生方や園児、保護者の方々との関わりを観察する中で、講義だけでは学べない大切なことを数多く学ぶことができました。

実習を通して、幼稚園教諭という職業は、園児とのふれ合いを通して毎日何度も笑い合うことができる、温かくやりがいのある仕事であることを改めて実感しました。うまくいかず戸惑ったり、失敗して落ち込んだりすることもありましたが、そんなときでも園児との関わりの中で自然と笑顔になっていたことを思い出し、心が救われました。

また、教職員の方々が園児の成長を間近で見守り、支えている姿を見て、保育という仕事の素晴らしさを改めて感じました。この教育実習を通して、教育者を志す気持ちは一層強まり、今後の学びや将来の保育にこの貴重な経験をしっかりと活かしていきたいと強く感じています。



心理・文化専攻

「答えのない問い」に向き合う力を育てる

－ 地域とともに学ぶプロジェクト型授業 －

教育・心理学科 石井 洋平 教授

「地域プロジェクトマネジメント」は、地域での実践を通して、「答えのない問い」に向き合う力を育てる授業です。教育・心理学科の心理・文化専攻は、卒業後の進路の幅が広く、それぞれの個性や希望に応じた未来を描けるのが魅力のひとつ。その分、社会の中で自分の力をどう活かすか、自分なりの道を見つける力が求められます。

この授業では、地域の人たちと協力しながら課題に取り組むことで、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を育みます。2年次には、薩摩川内市が実施する『若手チャレンジプロジェクト』と連携し、市の若手職員と一緒に地域のリアルな課題に挑戦。学びを社会につなげ、自分と地域の未来を少しずつ形にしていける、そんな経験が待っています。



「基礎看護技術Ⅲ(診療援助)」

看護学科 山下 里奈 講師

基礎看護技術Ⅲ(診療援助)では、1年次に学習した基礎看護技術Ⅰ(基本技術)、基礎看護技術Ⅱ(生活援助)の知識・技術を活用しながら、診療過程における看護の基礎的知識・技術の修得を目指します。授業は、講義やデモンストレーション見学を行った後、小グループに分かれて、看護師役・患者役・アドバイザー役を交互に体験しながら演習を行います。

写真は点滴静脈内注射演習の様子です。終了後の振り返りでは、「言葉で訴えることができない患者さんもあるため、滴下速度や刺入部の状態など、定期的に点滴の状態を確認する必要があると思った」「点滴を始めた後、必要物品を準備したら後はいつも通りすれば大丈夫という考えではなく、すべての動作において注意をしながら作業をすることが医療事故防止に重要だと感じた」といった意見が聞かれました。演習を通し、看護技術の手順や根拠を理解するとともに、援助を受ける対象の思いや医療安全について考えることも大切にしてほしいと思います。



健康栄養学科

健康栄養学科・第9回食文化ヨーロッパ海外研修

健康栄養学科 松元 圭太郎 学科長・教授

食文化ヨーロッパ海外研修が6年ぶりに開催され、健康栄養学科の学生20名が、2月10日～17日にフランスを訪問しました。訪れたユニ・ラ・サール工科大学では、がん患者に対する栄養指導について講義を受けるとともに、調理実習も一緒にを行い、教授や栄養士の先生方と交流しました。がん患者が少しでも栄養補給できるように工夫されたレシピに感銘を受けたり、日本とは違う味付けに驚いたり、貴重な体験となりました。

給食調理施設では、日本と異なることが多く、予定時間ぎりぎりまで栄養士との質疑応答が活発に行われました。

文化研修ではモン・サン・ミッシェル修道院、ノートルダム大聖堂、オルセー美術館を訪れ、多様な文化や価値観に触れたり、自由研修の時間にパリ市内のレストラン、カフェ、スイーツショップ、食料品店を訪れ、様々なフランスの料理を楽しんだり、フランスの食品・食材を実際に手に取って見たりと、多くの学生の見聞や視野が広がった研修となりました。



「最も小さい者※」とともに歩むために

※(聖書「マタイの福音書」より)

人間科学研究科 阿部 美穂子 教授

カウンセリングで出会う人は、必ず何がしかの傷つきを抱えています。もしかしたら、あたかも自分が「最も小さい」と、深い無力感を味わっているかもしれません。その実感を共にし、その人が自らを癒し、新たな力を掴むまで連れ立って行くのが、臨床心理士・公認心理師の仕事です。十人十色のクライアントに対応できるように、想像力と柔軟性を広げ、地道に自身を磨く…。心理の専門家を目指す学びは、尽きない「自分育て」の道のりです。

バラエティに富んだ心理療法の講義や様々な心理検査の演習、実際の面接場面の分析、膨大な時間を費やす学内や現場での実習、専門書との格闘、そして、仲間との尽きないディスカッションや遊び、思索…。「大学院」という磁場ですべての体験が結び付き、「最も小さい者の一人」と共に歩む新しい自分が紡ぎだされていきます。濃密な時間です。



就職支援の取り組み

令和6年度就職活動を振り返って

令和6年度就職状況の大きな特徴は、全国的な人手不足もあり、人材獲得競争が激しくなり、公務員・教員の採用試験が早まると同時に民間企業の求人活動も早まったことです。早期化に伴い令和5年度までは就職内定率が65%を超えるのは10月以降でしたが、令和6年度は9月でした。それぞれの学科が専門性を生かし、様々な職種にチャレンジして就職率98.7%を達成しました。

キャリア教育の充実

本学では、学年に応じた指導と、時代や企業等のニーズに合わせたキャリア教育を実施しています。毎年卒業生に実施する「進路支援満足度調査」においても、約8割以上の卒業生から本学進路支援の講座、指導、対応(職員の言葉遣いや態度等も含め)等について高い評価を受けています。

キャリア教育の充実を図るために、卒業後2年目の卒業生へのアンケートと職場へのアンケートを実施し、経済産業省が

提唱する「社会人基礎力」等が身に付いているかどうか14項目を3段階で評価していただきました。職場からは、「課題発見力」「計画力」「創造力」が他のものと比較して不足している、卒業生からは、「働きかけ力」「創造力」「専門的知識力」「チームワーク、リーダーシップ」が不足しているという結果でした。

新しい取組としては「公務員試験対策講座」、進路ガイダンスでの「生成AIを活用した就職活動とリテラシー」「コミュニケーション力アップ講座」「ストレス対策講座」などを加え、「社会人基礎力」を育成する内容を充実させ、社会に貢献できる人材の育成を段階的に目指すキャリア教育を行っています。

今後、ますます人材獲得競争が激しくなり、民間の就職活動に加え、公務員・教員採用試験などがさらに早期化することが考えられます。一人でも多くの学生が希望を叶えられるよう、より一層、全学体制でサポートしてまいります。



❖ 令和6年度卒業生の就職・進学状況

教育・心理学科	看護学科	健康栄養学科
就職率 95.8%	就職率 100%	就職率 100%
〈就職〉 ● 小学校教諭 ● 中学校(英語)教諭 ● 特別支援学校教諭 ● 公務員(国、地方) ● レバレッジズ 〈進学〉 ● 鹿児島純心大学大学院	〈就職〉 ● JA鹿児島連 ● 南日本銀行 ● 認定こども園錦ヶ丘 ● 愛の聖母園 ● アサダメッシュ 他 ● 鹿児島大学病院 ● 鹿児島市立病院 ● 鹿児島県立病院(看護師・助産師) ● 大阪医科薬科大学病院 ● 南風病院 ● 国立病院機構九州医療センター ● 養護教諭(公立学校、私立学校) ● 保健師(鹿児島県、鹿屋市、志布志市、南さつま市) 他	〈就職〉 ● 鹿児島大学病院 ● 鹿児島厚生連病院 ● 鹿児島医療生協病院 ● 種子島医療センター ● いまきいれ総合病院 ● 鹿児島県(管理栄養士、一般) ● エムサービス株式会社 ● 日清医療食品株式会社 ● 富士産業株式会社 ● 城山観光株式会社 ● 教員(家庭、栄養) 他 〈進学〉 ● 中村学園大学大学院

在学生インタビュー

— 純大での学びとこれからの目標 —

教育・
心理学科



自分の夢を見つけるために

教育・心理学科4年
Y.K.さん(松陽高等学校・南九州短期大学出身)

「あなたには叶えたい夢がありますか?」

私は、3年次編入生としてこの大学に編入学しました。入学当初、私には夢がなく、将来に漠然とした不安がありました。大学で教育学や心理学を学ぶ過程で、今の自分は何がしたいのか、自分の心と対話する時間が増えました。そして、やりたいことは何でも挑戦してみようと決めました。様々な場での司会、大学祭のOAO(One And Only)コンテストへの出場、独唱や合唱サークルの設立などの活動を通して、自分を表現する力が身に付きました。

大学生活を過ごす中で、私は中学校の英語教員になりたいという夢を見つけました。高校選択という人生の分岐点に立つ生徒の夢を叶えられる教員になれるように、邁進し続けたいと思います。

あなたもぜひ、純心大学でいっしょに夢を叶えましょう。

看護学科



人の尊厳を大切にする姿勢で

看護学科4年
T.K.さん(川辺高等学校出身)

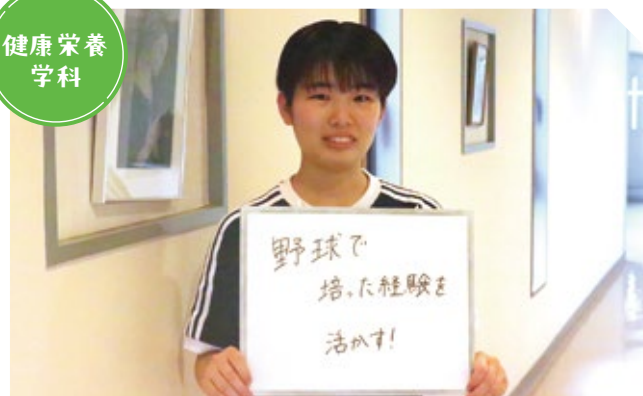
私は、“その人らしさ”を大切にする看護師を目指しています。

純心大学は少人数制で、先生方との距離が近く、丁寧な指導を受けられる環境が整っており、相談もしやすく、安心して学ぶことができます。

また、看護師だけでなく、保健師・助産師・養護教諭の資格取得を目指すことも、この大学の魅力の一つです。

私はカトリック精神に基づいた純心大学ならではの講義を通して、相手を尊重し、思いやりの心を持つことの大切さを学びました。また、様々な価値観に触れる中で、人の尊厳を大切にする姿勢を身に付け、その人らしさを尊重する看護の在り方について深く考えるようになりました。看護師としてだけでなく、一人の人間としても成長できるこの環境で、これからも学びを深めていきたいと思っています。

健康栄養
学科



“食”の力で誰かを支える存在へ

健康栄養学科3年
C.T.さん(神村学園高等部出身)

私は、小学2年生から高校卒業までの約11年間、野球に打ち込んできました。怪我やスランプを経験する中で、食事や栄養の重要性を感じたことが、管理栄養士を目指すきっかけになりました。

健康栄養学科では、講義だけでなく実習や実験が充実しており、知識を実践的に深められる環境が整っています。先生方との距離が近く、質問や相談がしやすい点も大きな魅力です。学びを通して、専門的な知識だけでなく、協調性やコミュニケーション能力も養うことができ、将来の現場で求められる力を身に付けることができます。

11年続けてきた野球で得た粘り強さや協調性を活かし、仲間と支え合いながら管理栄養士という目標に向けて努力を続けていきます。

大学院



心に寄り添う支援者になりたい

人間科学研究科 心理臨床学専攻2年
H.H.さん(川内高等学校・鹿児島純心大学出身)

大学院では、臨床心理士・公認心理師を目指し、多様な領域の心理学を幅広く学んでいます。臨床経験が豊富な先生方からの丁寧で温かな指導のもと、専門的な知識だけではなく、支援者としての在り方や姿勢についても理解を深め、日々、自分自身の成長を実感しています。また、支え合う学びの環境の中で出会った仲間や貴重な経験は、自身の人間性や価値観を見つめ直す大切なきっかけとなり、心理支援の現場で必要とされる思いやりや共感の重要性を強く感じています。

将来は、悩みを抱える方々の心に寄り添い、その人らしい生き方を尊重し、支えられる温かい支援者となることを目指し、今後もより一層学びを深めていきたいと考えています。

令和9年度新学科開設！

対人援助職の養成に、情報科学の新しい風を！

－情報学部 社会共創学科(設置構想中)新設について－

教育・心理学科 久木田 英史 教授(新学科ワーキンググループ長)

情報・通信技術や人工知能など、急激な技術革新が、今、私たちの暮らしを劇的に変えつつあります。他方、人口減や少子高齢化、経済格差の拡大など、社会には複雑に絡み合う様々な問題が立ちふさがっています。

私たちは新たな知識や技術と共に、現代社会を取り巻く様々な困難に立ち向かわなくてはなりません。

鹿児島純心大学は建学以来、教育学や心理学、健康科学など、対人援助職養成の分野で、カトリックの説く隣人愛に基づく教育を実践してきました。文理融合型の新学科、情報学部社会共創学科は、キリスト教的ヒューマニズムに基づく人間性の育成に加え、

- 現代社会を動かしている情報科学の、根幹となる知識・技能への習熟
- 修得した知識・技能を、幸福な社会の実現に向けて生かすための実践

を教育の柱とします。

- ひとつひとつ抱えている困難の解決のために活用して(「人を想う」)
- ひとつひとつと共に社会の新しいあり方を創造していく(「人と輝く」)

そのような人を育てます。



文理横断的＝
社会課題解決分野+情報科学分野の学び

2年前期まで ▶基礎教育

社会人としての資質を磨き、人文・社会科学の知見も生かしながら、社会課題を多角的な視点から捉える力を育てる。また、情報科学・技術について、適切に理解し活用する基礎的な能力を養う。

2年後期から ▶専門教育

基礎教育で身に付けた知識・技能を生かして、企業・自治体・地域など、現場での課題解決に実際に取り組む。同時に、専門領域での探究を深め、4年生での卒業研究へと発展させることで、合理的な根拠に基づいて社会課題への解決を提案できる、実践的能力を養う。

卒業後は地域振興を中心に活躍

現場での経験に加え、情報科学と人文・社会科学の学際的知見を生かして、企業・自治体・各種団体における企画・マーケティングなど、分野を問わない業種での活躍が想定される。

また、より高度な知識・技能を修得するための大学院進学や、新しいアイデアを生かした起業なども期待される。



大学祭インタビュー

大学祭
White Lily Festival開催！

令和6年10月26日(土)・27日(日)の2日間、大学祭「White Lily Festival」を開催しました。大学祭のテーマは「It's "笑" time—最高のステージの幕開け—」。このテーマには、「第30回大学祭という節目を全員で笑顔溢れる最高のものにしたい」という思いが込められており、実行委員会および学生会を中心に準備をしてきました。

今回は、大学祭で実行委員長を務めた教育・心理学科4年 M.M.さん(川内高等学校出身)にお話を伺いました。

—実行委員長を務めたきっかけや自身の成長や変化を教えてください。

きっかけは、先輩や友人に推薦してもらったことです。1、2年生で大学祭実行委員をしていたこともあり、お声掛けをいただきました。初めは自分に務まるのかという不安もありましたが、2年間の経験から学生のためになることをしたいと考え、大学祭実行委員長を務めることに決めました。

自身の成長としては、リーダーの立場を自覚することができるようになったことです。自分がやらなければいけない仕事と自分でも務まる仕事を把握し、周りに振ることも大切だと学びました。自分一人ではできることが限られるため、私にしかできない仕事を探し、それ以外は周りに頼ることができるようになりました。



写真左がM.M.さん

—準備期間中に苦労したことは？

一つ目は、学業との両立です。私は大学祭が本格的に動き出そうとしている時期に実習があり、外部の関係者様や学生とのやり取りが遅くなってしまう時期がありました。しかし、焦らず一つずつ着実に進めることで、トラブルなく両立して進めることができました。

二つ目は、指示をすることの難しさです。私は誰にでも伝わると思いついて、指示出しがだまかになってしまっていました。その結果、思っていることが伝わっておらず、仕事の進行を遅らせてしまうこともありました。指示の難しさを知ってからは、事細かに一つずつ指示をする必要があると学び、意識して発言を行うようにしました。



—大学祭での思い出は何ですか？

一番の思い出は、役員と学生会で学内に泊まったことです。大学祭当日は移動方法や時間によっては準備が間に合わないため、大学に宿泊しました。簡易ベッドで寝たことや友人の誕生日パーティーをしたこと、早朝にも関わらず皆で話し過ぎてしまったことなど、さらに絆を深められた時間だったと思います。役員全員、日中の疲れが溜まってきているようでしたが、友人と話をし疲れを笑いに変えることで、お互いに元気を与え合いながら最後までやり切ることができ、最高の思い出となりました。

ぜひ
ご参加
ください！令和7年
大学祭 開催日

10/25(土) ▶ 26(日)

交流と絆を深めた
スポーツ大会

令和7年5月2日(金)、学生会主催でスポーツ大会を実施しました。学生同士や学生と教職員との交流を目的とし、バレーボールやドッジボールなど、各学科学年対抗の熱戦が繰り広げられました。

全学科・学年が一堂に会して行われ、大いに盛り上がりました。4年生にとっては学生生活の思い出の新たな1ページに、1年生にとってはお互いを知り合う楽しい時間となったようです。

新入生交流会を
開催しました

令和7年5月10日(土)、「新入生交流会」を開催しました。各学科上級生のリーダーが企画・運営し、授業や実習、サークル活動、アルバイトなど、学生の視点から体験談やアドバイスを伝えました。入学して間もない1年生は、レクリエーションを通して、クラスメイトや先生方との交流を深めたようです。今後の学生生活の充実に繋がることを願っています。

「薩摩川内はんやまつり」で
「準はんや大賞」を受賞

令和6年11月3日(日)に開催された「薩摩川内はんやまつり」の総踊りの踊り連に、1年生・教職員有志の約100名が参加しました。薩摩川内市誕生20周年、そして本学創立30周年の記念の年となった今回。当日は天候にも恵まれ、汗ばむ陽気の中、学生たちは今までの練習の成果を地域の皆様に披露し、「準はんや大賞」を受賞することができました。

良い記念
となりました！サークル紹介
着装礼法部

現在、着装礼法部は外部講師の先生方2名をお招きし、4年生2名、3年生1名、2年生1名、1年生5名の計9名で活動しています。

昨年度は、鹿児島県で開催された「きもの装いコンテスト九州・沖縄大会」に出場し、個人振袖の部で2位、学校対抗の部では優勝いたしました。着装礼法部の活動を通し、純心大学をより魅力的に盛り上げていけるよう、日々お稽古に励んでいきたいと思っています。

部長 教育・心理学科4年
Y.H.さん(開陽高等学校出身)